

1 / 2 成人式！！伝えよう「ありがとう」の気持ち！A表現（2）

～とび出す仕組みを工夫しながら、メッセージカードを作ろう～

広島市立東野小学校 川村 勇太

1 学年・学級 第4学年3組（男子16名 女子14名）

2 場所・日時 教室 2月〇日

3 題材について

- 本学級の児童は、図画工作科に積極的に取り組もうとする姿勢がみられ、大変意欲的である。しかし、イメージがわからずスタートに苦しむ児童や、最後までていねいに取り組めない児童がいる。技能面では、はさみやのり、カッターなど道具を使うことが苦手であったり、細かい手作業ができなかったりと支援を必要とする場面もある。
- 本題材は、とび出すメッセージカードを作ること、これまで育ててくれたお母さんやお父さんに感謝の気持ちを伝える題材である。子どもたちに普段は忘れかけている「ありがとう」という気持ちを伝えられるきっかけになればいいと思う。
また、様々な材料や用具、とび出す方法を選び、工夫しながら自分なりの作品を作っていける題材である。ここでは、伝えたい気持ちに合わせて、様々な大きさと色の画用紙と、はさみやカッターなどの用具を生かして表す力をつけたい。
- 指導にあたっては、総合の時間で行う「1 / 2 成人式」などで、普段の生活を改めて見つめ直し、「ありがとう」という気持ちをもたせる機会を作りたい。自分一人ではできないこと、生活の中でやってもらっていること、助けてもらっていることなどを考えさせたい。
活動において、児童の多くが開くととび出す仕組みがイメージできないことが予想される。そのため、まずは仕組みを考えさせる。その後、前もって作った教師の作品や参考になるものを見せ、いろいろな方法があることを気付かせ活動に入りたい。
さらに、どうやったらとび出すかしっかりとやり方を伝え、いらなくなった用紙を使い練習したい。また、参考になる作品を前の机に並べておいておき、発想や構想の手助けにしていきたい。
用紙などの材料については、たくさん色や大きさを用意しておき、子どもたちが自由に発想や構想ができるように準備する。そして、取りかかりに苦しむ児童には、どういうことを伝えたいかなど語り合いをしながら思いを引き出したり、自信をつけたりなど支援していきたい。

4 題材の目標

- 感謝の気持ちを込めて、色や形、とび出す仕組みなど、自分の思いにあった表現方法を選び、表し方を工夫する。
- 感謝の気持ちを込めて、ていねいに！！

5 題材の評価基準及び学習活動における具体的評価基準

	ア造形への 関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
題材の評価基準	生活を振り返り、伝えたい気持ちをとび出すカードで表そうとする。	伝えたい気持ちやとび出す仕組みなどを考え合わせながら、気持ちがよく伝わるように表し方を構想する。	色や形、とび出す仕組みなど、自分の思いにあった表現方法を選び、表し方を工夫する。	友達の作品の表現方法の違いや良さを感じ取る。
学習活動における具体的評価基準	①伝えたい気持ちを明確にし、感謝の気持ちを持って積極的にカードづくりに取り組もうとする。	①とび出す仕組みをどの方法でつくるか考え、まわりに表すもの（伝えたい気持ち）の組み合わせを考えながら表す。	①表したいことに合わせて、とび出す仕組みやなどの表現方法を選び、試しながら、形や色、材料の特徴をいかして表し方を工夫する。	①互いの作品を見合い、感謝の気持ちに共感したり、表し方の良さや違いを感じとったりする。

6 指導と評価の計画（全4時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価基準等		
		(観点) 評価基準 評価方法	十分満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
第一次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の生活を振り返り、お母さんやお父さんに伝えたい気持ちを考える。 ・ とび出す方法の練習をする。 ・ とび出す仕組みとの組み合わせを考えながら構想を練る。 	アー① 活動の様子の観察 イー① 活動の様子の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感謝の気持ちを伝えようと、積極的に取り組もうとする。 ・ とび出す仕組みを理解しかつ表したもののイメージをもち、自分なりに構想を練る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問いかけをし、感謝の気持ちをもてるようにする。 ・ 寄り添い一緒にとび出す仕組みをつくってみせる ・ 教師の試作品をみせイメージを膨らませる。
第二次 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のカードの構想に合わせて、材料を選び、用具や表現方法を工夫して表す。 ・ ミニ鑑賞をし、良さや工夫、違いを伝え合う。 	ウー① 活動の様子の観察・作品 エー① 活動の様子の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のカードの構想に合わせて、材料を選び、適切に用具を取り扱い、発想を広げながら工夫して表す。 ・ 友達の作品の工夫や思いに気付き、伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の表現方法を参考にしてもよいことを伝える。 ・ 語り合いのなかで、共感的な声かけをしたり、思いを引き出すようにしたりする。 ・ やって見せながら適切な用具の取り扱い方を伝える。 ・ 友達の作品と自分の作品の良いところや違いを見つけるように声をかける。

7 本時の目標（2/4時）

○表したいことに合わせて、とび出す仕組みやなどの表現方法を選び、試しながら、形や色、材料の特徴をいかして表し方を工夫する。

8 準備物

(指導者) 画用紙 色画用紙 カッター カッター板

(児童) はさみ のり 色鉛筆 定規 サインペン クレヨン・パス

9 本時の展開（2/4時）

学習活動	教師の支援	評価基準・評価方法
1 本時の学習活動をつかむ。 ・ 題材名や本時のめあてを確認する。	・ 「1/2成人式！伝えようありがとうの気持ち」の題材名を示す。	・ 伝えたい気持ちを明確にし、感謝の気持ちを持って積極的にカードづくりに取り組もうとする。アー① ※児童の観察の様子
① 思いに合うように、用紙を選んだりカッターやはさみで切ったりして、とび出す仕組みを試しながら工夫してつくろう。 ② 感謝の気持ちを込めて、ていねいに。		
2 表現する ・ 構想したことをもとに、「とび出すメッセージカード」をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試作品などは前の机においておく。 ・ 思いに合う表現方法を選べるように様々な色や大きさの用紙を用意する。 ・ はさみやカッターの扱い方がうまくいかない児童には、やってみせ正しい方法を伝える。 ・ 発想が浮かばない子や自信がない子には、共感的な言葉をかけたり、語り合いのなかで思いを引き出したりするようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表したいことに合わせて、とび出す仕組みやなどの表現方法を選び、試しながら、形や色、材料の特徴をいかして表し方を工夫する。ウー① ※児童の様子の観察 つくりつつある作品
3 片付けをする	・ 使った用具がきちんと片付けられているか確認させる	